



勉強する子ども きたえる子ども やさしい子ども

かわひがし

都城市立川東小学校 学校だより



令和7年度 第6号

令和7年8月26日

文責 校長

本校の木 やまもも

2学期がスタート！

長い夏休みを終え、2学期がスタートしました。夏休み中は大きなかがや事故の報告もなく、子ども達は元気な姿で登校してくれました。これも保護者・地域の皆様のおかげです。本当にありがとうございます。

2学期は、運動会や遠足などの大きい行事が控えていますし、勉強も頑張る学期です。1学期よりも、友だちや先生と協力して何かをする機会が増えてきます。そこで本日の始業式で、2学期に大切にしてほしいことを3つ、子ども達にお願いしました。もし、よろしければ、次のことについて、それぞれの立場で、子供たちに話を聞いていただければと思います。（文章は、子ども達に向けた表現になっています。）

【大切にしてほしいこと1】「きく（話を聞く）」

みなさんは、自分が話をしている時に聞いてもらえたかったらどう思いますか？きっと、イヤな思いをしますよね。イヤな思いをするのは、友だちや大人もいっしょです。だからこそ、人の話は最後までしっかり聞くことは大切です。人の話を最後まで聞くと、大切なことに気づけたり、友だちや先生の気持ちが分かったりします。また、自分の考えも言いやすくなります。話を最後まで聞くことは、みなさんにとってもよいことがありますので、最後まで話を聞くようにしましょう。



【大切にしてほしいこと2】「かんがえる（自分で考えて行動する）」

自分で考えて行動するとは、自分勝手にすることではありません。先生や友だちの話をしっかり聞いて、「どうすればいいかな」と自分の頭で考えて行動することです。はじめはむずかしいかもしれません、自分で考えてうまくいったときは、とてもうれしいと思います。授業でも、「先生、どうすればよいですか？」とすぐにやり方を聞かずに、どうしたらよいかを自分で少し考えてみましょう。

【大切にしてほしいこと3】「ふりかえる（自分をふり返る）」

自分をふり返るとは、授業や学校での生活で、自分のしたことを思い出し「これでよかったかな」と考えることです。このこともはじめはむずかしいかもしれません、自分のしたことをきちんとふり返ると、自分に合ったやり方が分かり、できることが少しずつ増えていきます。学校は失敗してもよいところです。「次はどうしたらいいか」とふり返って、もう一度チャレンジしてみましょう。

校長のつぶやき「夏休み」

毎年、夏休みになると、私が、30年ほど前に中学校の教員になったときの父の言葉を思い出します。

「学校の先生はいいよなあ。子どもたちが夏休みだったら、先生たちも休みだろうが？ずっと、学校に行かんといいちゃろが？」

私はすぐに「休みじゃないよ！部活や面談、会議がいっぱい入っているし！」と否定しました。私の父は教員ではないので、このように言ったのだと思いますが、30年経った今も、「教職員の働き方」に関する社会の認識は、私の父と大きく変わらないのではないかと感じています。私個人の感覚なのですが、30年ほど前の学校は忙しい中にも、多少の時間の余裕があったと思います。しかしこの30年間で、学校に求められることが急に増えてきて、時間的・精神的余裕をもてなくなってきたと感じます。

私は、この3月まで学校以外のところにいたので、ほぼ10年ぶりの学校復帰となります。この10年間、学校外にいた私が見ても、本校の職員の1学期の様子を見ると本当に忙しく気が休まる暇もない感じますし、校長としてできることを考える毎日です。

保護者・地域の皆様もそれぞれ仕事があり、お忙しい日々を過ごされていることは重々承知をしていますが、現在の学校の状況をご理解いただけるとありがたいです。

夏休みの職員研修の様子です。
授業をよりよくするための話し合いをしました。



夏休み中、花壇のひまわりも元気よく咲いていました。



8・9月の主な行事

- 3日（水）委員会活動
- 5日（金）クレヨン号来校
- 10日（水）参観日
- 18～19日 宿泊学習（5年）
- 24日（水）運動会結団式



←川東小ホ
ームページ
学校の様子
を随時更新
していきます。
ひご覧ください。



←学校通信の
感想フォーム
です。よろしけ
れば、9月22日
までに入力して
ください。